



中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市（安来市、松江市、出雲市、米子市、境港市）で構成。県境を越えた圏域の連携で、多くの事業を展開しています。

今年2月には第2期地方版総合戦略を新たに策定。引き続き「県境を越えた広域連携」により「圏域人口60万人の維持」を図ることとしました。

令和2年度は、総合戦略のテーマである「住みたくなる圏域」を実現するため、戦略に掲げる「3本の柱」を軸に圏域の強固な連携のもと事業を行います。

3本の柱

- ① 国内外を視野に入れた力強い産業圏域の形成
- ② 未来をひらく交通ネットワークの形成
- ③ 恵まれた生活環境を生かした圏域の形成

令和2年度の主な事業

- ① インド人材（IT等）の圏域内企業への就職や日印企業の業



▲今年2月に行った東京大学地域未来社会連携研究機構との連携協定締結式。

務提携等に繋げる取り組みを継続的に展開します。また、販路拡大を目指しインドでの見本市等へ圏域内企業と参加します。

② 昨年設立された中国横断新幹線整備推進会議等の関係団体と連携します。

これにより中国横断新幹線および山陰新幹線の整備計画路線への格上げに向けた国への働きかけを行います。

③ 東京大学地域未来社会連携研究機構との包括協定に基づき、学生を受け入れます。

地域課題解決の提案に向けた研究・体験活動の場として、地域住民との交流を通して関係人口の創出を図ります。

新型コロナウイルス感染症の影響により一部の事業を中止する場合があります。

市長会事務局 ☎ 0852-5515056

困ったときは 消費生活センターに ご相談ください

場所：人権施策推進課内（市役所安来庁舎2階）

「強引に勧誘され契約してしまった」「高額すぎる請求が来た」など、消費者を取り巻く環境は、ますます多様化しています。

消費生活センターでは、商品やサービスなど消費生活全般に関する問い合わせ、消費者からの相談を専門の相談員が受け付けています。

困ったときはすぐに相談

- ・消費者ホットライン
局番なしの188（泣き寝入りはイヤヤ）
- ・安来市消費生活センター
23-3068
- ・島根県消費者センター
0852-32-5916



◀消費生活センターには役立つ情報がたくさんあります。相談用に個室も用意しています。

相談の受付

電話や窓口で相談を受け付け、トラブルの解決策や、事業者との交渉など、対処法のアドバイスを行います。場合によっては弁護士や専門機関などを紹介しながら、問題解決に導きます。

事業者と交渉

若者や高齢者など、自力で事業者と交渉することが難しい場合があります。消費者からの相談内容を的確に分析し、双方の間に立って調整を行い、解決の道を探ります。